北海道倶知安高等学校同窓会誌

発行元　倶知安高等学校白樺会事務局
〒044-0057　虻田郡倶知安町北7条西2丁目
TEL:0136-22-1085
発行日　令和4年6月17日

白樺会報

第26号

たくさんの方々に支えられ 2 度目のオリンピックの舞台に立つことが出来ました。
北京はとても寒く苦しい状況ではありましたが、たくさんの暖かい応援及び激励のお言葉をいただき幸せなアスリートであることを改めて実感致しました。
本当にありがとうございました。

前田沙理

オリンピックでは沢山の応援を有難う御座いました。
皆様の応援や支えなしではここまで辿り着くことはできなかったと感じています。今までで１番幸せを感じる事ができた場所でした。またこんなにも素晴らしい環境の中で競技をできたことに、これからこの感謝の気持ちを忘れる事は無いと思います。ありがとうございました。

住吉輝紗良

創立100周年　新たな年を迎えて

～ニューノーマルな時代の幕開け～

倶知安高校白樺会
会長　鈴木保昭

3万人を超える卒業生の皆様におかれましては、日頃から私たちの母校、倶知安高校の教育・運営にご理解・ご協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。

いま世界は大きな変革期に突入しました。ウクライナ情勢は世界の平和・社会や経済に加速度的に大きな変化が生まれています。更に予期せぬ新型コロナウイルス感染症の影響は、急激なスピードで社会を飲み込み、経済の在り方さえも変えようとしています。

このような不安定な時代の中ではありますが倶知安高等学校創立100周年をも迎える事となりました。

2022年10月8日（土）式典は倶知安高等学校、祝賀会は倶知安町ホテル第一会館で開催いたします。

さて、ご承知のとおり現在白樺会としては同窓会報を発行し併せて会費納入のお願いを約1万人の同窓生に送付していています（現住所が不明の方も相当数）。この送付に対しては正直申しまして反応は薄く、会費の納入も600名余の納入です。改善策も検討実行していますが費用対効果が極めて薄いのが正直なところです。

残念ながら効果は期待どおりとはなっておりませんが、創立100周年記念の総事業費として1千500万円の予算で皆様にご協力をお願いしています。

体育館の放送施設の更新、吹奏楽の楽器の更新、野球部のピッチングマシーン、スキー部のトレーニングマシーン、その他部局活動備品整備費用に使い切る覚悟で計画を進めているところです。

最大の記念事業として直木賞作家京極夏彦氏のご支援をいただき「魑魅魍魎（ちみもうりょう）渦巻く京極夏彦の世界」展を2022年10月1日（土）から11月27日（日）小川原脩記念美術館で開催いたします。倶知安高校が生んだ魅力的な京極氏の世界を堪能していただけたら幸いです。

皆様には倶知安高校の発展と生徒たちの活躍を応援していただき、同窓会会員として倶知安高校とともに未来に向けて歩んでいただくようにお願いしたいと思います。

【着任のご挨拶】

令和4年4月1日に本校に着任しました 谷川 敬一（たにかわ けいいち）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。前任は市立函館高校でした。函館には縁があり、教員（15年）、教頭（3年）、校長（2年）の合わせると20年間を函館で過ごしました。後志では、大学生の時に小樽で4年間を過ごしたのみですので、実質は今回が初めての後志での生活になります。先述しましたように、函館での暮らしが長く、自分では意識したことはあまりありませんでしたが、私の話し言葉は【なまっている】ようです。倶知安に来てお会いした方々と話をすると、皆さんの言葉が綺麗で、羨ましいと思う反面、「自分はここでは異端なのかな」という距離を感じてしまうこともあります。とは言いましても「住めば都」という気持ちに近いうちになるとは思っています。現時点では「何が分からないのかが分からない」という状況ですが、白樺会の皆様に本校がお世話になっていますことは存じ上げております。校長は変わりましたが今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

100年生きる人々が、100年生きた学校を祝う年

校長　谷川 敬一

【祝いの年】

4月の入学式の式辞で次の内容を新入生に話しました。

「『人生100年』というフレーズを見聞きします。今年度の入学生はその『人生100年』の調査対象になった、まさに『人生100年世代』です。これは英国の学者が『2007年に日本で生まれた子供については、2人に1人が107歳まで生きる可能性がある』という研究を発表をし、世に知られることになりました。倶知安高校にとりましても、今年度のキーワードは『100年』です。本校は大正11年に創立し、今年で100年を迎えます。今年度は、その100歳の誕生を祝う行事、創立100周年記念式典等が予定されています。100年生きる人たちが、100年生きた学校を祝う、祝福の年です。きっと、これまでのコロナ禍中の重い雰囲気から心機一転、明るい気持ちで高校生活を過ごせる年になると思います。」

今年度は式典、記念講演会、祝賀会など白樺会の皆様にご支援、ご協力いただきながらの1年になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【パイオニアスピリット（開拓者魂）】

4月の始業式では2、3年次生に校訓について話をしました。

進取（自ら困難な課題に果敢に挑戦すること）創造（基礎・基本となる知識・技能を活用し、人のために役立つ物・ことを作ること）自律（自分の人生は自分が作るという当事者意識を持ち、前向きに生きようとすること）。校訓につきましては生徒全員が言えました。

そして、モットー（伝統的精神）についても取り上げました。「不羈卓犖（ふきたくらく）」（偏見や古い考えに束縛されず、自由に学び、抜き出て優れていることを見つけのばすこと）。Covid-19のために、校歌を全員で歌う機会がなく2年間を過ごしたためでしょうか、こちらは読み方も意味も難しかったようで、答えられる生徒と答えられない生徒に分かれました。いずれにしましても、校訓やモットーから私が感じ取ったのは「パイオニアスピリット（開拓者魂）」です。100年前に本校を創った方々の気骨と熱い思いをひしひしと感じます。特に、これからのsociety5.0という新たな社会を生き抜くためには「進取の精神」が欠かせないと私は常々感じておりました。ですから本校の校訓に触れたとき、私の胸にも100年の火が灯ったように感じました。変化の激しい時代に生きる生徒たちに、本校の「パイオニアスピリット」をしっかり伝えることが私の役目だと感じております。

東京白樺会の現況について

東京白樺会副会長　村田　烈夫（新高 14 期生）

東京白樺会は２０１９年末から始まったコロナ禍により、一昨年・昨年と続けて一堂に会しての総会・懇親会を開催することが出来ず、文書での総会開催となりました。まことに残念なことであります。

会員の皆様はこの懇親会を大変楽しみにしておられましたが、二年も続けて中止になり、また今年も東京では、この３月に「まん延防止重点措置」が解除になった途端に毎日８千人近くもの新規感染者が出る状態です。テレビや新聞を見るたびにため息をつく日々が続き、桜の時期も満開なのに楽しむ気分にはなれませんでした。

その後もコロナの感染者数は落ち着きを見せず、今年の総会・懇親会を開催できるかどうかも心配しているところです。

また、これまで利用していた会場が昨年末に閉店となり、開催には会場探しからの準備となりますが、引き続き役員一同力を合わせて東京白樺会を盛り上げていくよう努力を続けたいと思います。

集いの活動は前記のようにここ2年間は何もできておりませんが、ただ昨年会員へ送付した「東京白樺会だより」で母校の百周年記念協賛金募金をお願い致しましたところ、多くの会員からご協力を頂いております。続けて今年度も式典が行われる近くまでお願いをしてみたいと思います。

今年10月に百周年記念の式典が母校体育館にて行われる予定ということですが、大変喜ばしいことであります。このコロナ禍のなか式典などを盛大に行うのは厳しいかもしれませんが、成功を祈っております。

令和4年 札幌白樺会からのお知らせ

役員一同

札幌白樺会は昭和42年（1967年）3月に発足し、平成30年（2018年）7月に創立50週年記念として総会・懇親会を１０４人の出席を得て札幌市内で開催しました。

総会は2年毎に開催しており、本来であれば令和2年（2020年）に開催する予定でしたが、新型コロナ・ウィルスの世界的なまん延により、2度、その開催を延期してきました。

コロナ・ウィルスのまん延は第6波を数え、私達の想像を超えるものとなりましたが、一方ではワクチン接種が3回まで進み、また、その処方薬も開発されてきている状況にあります。

今後はコロナ・ウィルスと共存しながら、如何に通常の社会生活に戻るかといったフェーズ（段階）に入ってきたと感じています。

しかしながら、まだまだ予断は許さない状況であることに変わりはなく、今年7月16日（土）に開催を見込んでいる第20回総会を予定どおり開催できるのか、現時点ではまだ一抹の不安を抱えているのも事実です。

このような状況であることを会員の皆様にはご理解を頂き、今年の総会は書面開催を含めて検討させて頂きます。

なお、会員の皆様に参集して頂き、懇親会を含めて開催するか否かは、今後の新型コロナ・ウィルスのまん延状況や国・道・札幌市の措置などを見極め、6月上旬に会員にお知らせさせて頂きますのでよろしくお願い致します。

開催を見込んでいる日時など

7月16日(土)15時から　札幌市内のホテル

総会を開催する手法などの選択肢

第１案	予定どおり開催(状況に応じて、１卓当たりの人数を削減。円卓に間仕切りパネルを設置)
第２案	役員など出席人数を絞った中で開催。なお、会員には議案(事業案及び予算案、役員改選案。以下同じ。)に対する議決書の提出(郵送)を依頼。
第３案	総会は書面総会とし、議案に対する議決書の提出(郵送)を依頼。

北海道倶知安高等学校　白樺会

北海道倶知安高等学校白樺会 facebook では、地域の状況や在校生の活躍を随時アップしております。また、各方面で活躍する会員さんのイベント告知も行っておりますので、同期会開催アナウンスなど、会員交流の場としてもどうぞご利用くださいませ。

白樺会会報誌編集委員会

委員長　門田淳
編集委員　木村聖子　榊政信　本間景子　本間珠美

わたくしが 倶高生 だったころ

文字一志
（倶知安町長　S56 年卒）

迷うことなく倶高へ入学した。昭和53年４月、木造旧校舎の最後の入学生であった。新一年生は慣れぬうちは上級生からの何かしらの”圧“を感じながらのスタートとなる。私の場合、その辺は恵まれていた。

２学年上に姉がいたこと、また部活動（卓球）の先輩が多く、顔なじみの上級生が多くいたおかげだろうと思う。

それでも、校舎とは別棟にあった学食に初めて入った時、温暖差と蒸気でメガネが曇ってなかなか取れなかったこと、そしてかなりビビっていたことは忘れられない。

何を食べたか、おいしかったかどうかも記憶にない、ただひたすらメガネは曇っていた。

時代はインベーダーゲーム全盛期、ゲーム機の置かれた喫茶店に入り浸っては教師らの指導を受ける者も。

山口百恵が引退し、ジョンレノンが殺害され、世の中には「終わり」があるものだと知らされたのも私たちの高校時代であった。

今、倶知安町長となり、「高校時代を振り返って、どんな学生だったか？」など聞かれることがある。皆さんはどう答えるのだろう？と思いながら…、「羽目を外してまで目立とうとしない、そこそこ真面目なごく普通の高校生だった。」とやはり面白くもなんともない答えをしてしまう。残念ながら、そんなものであった。

とはいえ、３年間卓球部活動での顧問、先輩、後輩や同学年の仲間にはお世話になり、今でも感謝の気持ちでいっぱいだ。先輩方とは私が中学生の時から練習を良くしてもらった。なので、今でも多くの先輩の顔を浮かべることができる。そして、部活だけではなく参考書のお下がりなどもたくさんいただいたものだ。

同学年の仲間は本当に心通わせてくれたし、後輩にも大いに恵まれた。

私が部長だった頃の体力トレーニングはきつかったはずであったが、笑いも入れながら耐えてくれた。

あの頃から40年を過ぎた今でも「モンジセンパイ！」と恥ずかしくなるほどの大きな声をかけてくれる後輩がいてくれる。

その中には、真狩村長となった岩原清一君がいる。ともに羊蹄山ろくの魅力に磨きをかけ、豊かな地域づくりに渾身の力をふりしぼり続けたい。

「いらっしゃいませ！」　清野　弘敬 (セイノ　ヒロユキ) (H9年卒)

「私はじゃがいもを持っている」

私は倶知安町で生まれ育ち、そして今 この地でレストランを営んでおります。1997年に倶知安高校を卒業し、一度、倶知安町を離れ料理の道へと進みました。あたりまえに過ごしていた高校生活が今は 懐かしく、かけがえのない時間だったという事は社会に出てから気づくものです。 1日に何度も食べた昼ごはんも良い思い出です。食べることが好きな事が現在の職に繋がっていると思うと食いしん坊も良かったのかもしれません。タイトルにある「私はじゃがいもを持っている」は実はレストランの店名「ジェラパタット」の意味なのです。フランスではじゃがいもは元気の象徴とされていて「私は元気がある」と言う意味にもなり、このじゃがいもで有名な倶知安町で食材を通して元気になっていただけるような、そんなお店を目指しています。 故郷で、お店をもてる事に幸せを感じながらじゃがいもの様な顔で皆様のお越しをお待ちしております。

RESTAURANT
J'ai la patate
KUTCHAN - HOKKAIDO

ジェラパタット
044-0078 北海道虻田郡倶知安町樺山 30-149
TEL 0136-23-4622
https://www.patate.hokkaido.jp/